

友好交流都市の締結

締結式は、台南市庁舎で行われ、使節団員全員が参加。庁舎内の友好都市を紹介した回廊を歩くと、すでに水戸市の名と市章が印字されたパネルが提示されていました。

会場では、黄市長が団員一人一人の席に向いて挨拶を交わされ、会場全体が和やかな雰囲気の中、締結式が進行しました。

式典の最後には、締結を記念し、飛虎將軍廟がある安南区に新設される道路を「水戸街」と命名することが発表されるなど、台南市からの温かい歓迎に、参加した団員は感銘を受けていました。



▲締結式の様子



▲パネルに刻まれた市章



▲団員に挨拶する黄市長



▲調印した協定書



▲飛虎將軍廟での撮影

使節団の視察

使節団は、締結式に参加したほか、飛虎將軍廟の参拝、日本人技術者が建設した烏山頭ダムや国立台湾歴史博物館の視察など、台南市の歴史や文化に触れ、理解を深めました。



▲国立台湾歴史博物館

台南市との友好交流のきっかけとなった杉浦茂峰氏

杉浦茂峰氏は、水戸市出身で、五軒小学校などを卒業しています。本市では、五軒町にあった生家の跡地(旧茨城県信用組合農林水産部ビル西側側面)にパネルを設置し、杉浦氏が台南市の皆さんに飛虎將軍として手厚く祀られていることなどを紹介しています。

詳細はこちら⇒



台南市と友好交流都市の協定を締結しました

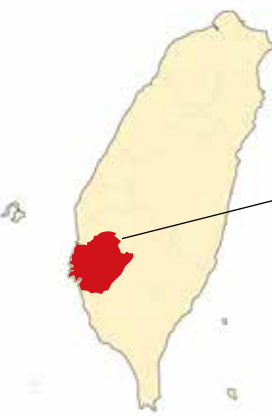


本市は、国際親善姉妹都市のアナハイム市や、友好交流都市の重慶市と都市間交流に取り組んできました。

この度、台南市と友好交流都市を締結するため、11月21日～24日の日程で、水戸市長を団長とした、市民、市議会議員で構成する総勢71名の友好交流都市締結使節団が、台南市を訪問しました。

22日には締結式が行われ、高橋市長と大津議長、黄偉哲台南市長が、「水戸市と台南市の友好交流推進に関する協定書」に調印しました。

こうして、両市は、友好交流都市として、新たな一歩をスタートし、こどもたちの教育・スポーツ・観光など、さまざまな分野で交流を図っていきます。



【台南市】

人口：約186万人

面積：2,192km²

台南市は、400年の歴史を持つ台湾で最も古い都市で、22もの国定古跡を有する「文化首都」と称されています。

また、産業面では、台湾一の耕作地面積を誇る農業以外にも、台湾南部における産業と科学技術発展の中心地ともなっています。

台南市公式ホームページ⇒



CONTENTS

— 目次 —



04 特集

水戸市第7次総合計画一み
と魁・Nextプランー3か年
実施計画を策定しました

08 第129回水戸の梅まつり

10 水戸産の梅「ふくゆい」

11 Event & Seminar イベント & 講座情報

15 Information お知らせ

20 みとっこ子育てnavi

21 Health Guide ーヘルス・ガイドー

22 いきいきシニア情報館

24 水戸のみやげ巡り

掲載している情報は1月20日現在のものです

今月の表紙

2月11日(火)から偕楽園・弘道館を会場に開催する第129回水戸の梅まつり。今年の梅まつりは、初開催のイベント「偕楽園UME The Lights」などを行うほか、2025年水戸の梅大使6名も、まつりを艶やかに彩ります。皆さん、ぜひ会場にお越しください。(水戸の梅まつりの詳細は8ページから)

納期

納期限は **2月28日(金)** です

納付するもの	課税に関する 問合せ	納付に関する 問合せ
国民健康保険税 (第8期)	国保年金課 (☎232-9526)	収税課 (☎232-9145)
後期高齢者医療 保険料(第8期)	国保年金課(☎232-9528)	
介護保険料(第6期)	介護保険課(☎232-9194)	

市税等の納付には口座振替が
おすすめです。詳細はこちら⇒

